

HMA オーケストラ No1

「リゾート・旅」を考える：前奏曲——望月照彦

前奏曲：第1節 旅とはなんだろうか

- ・人はなぜ旅をするのだろうか
- ・旅とは、どんな意味を持つのか（“たぶ “からきた言葉：柳田国男）
- ・リゾートとは・・・
- ・真のリゾートが意味するもの・・・理想人（りそうと）

第2節 旅の文化・・・ヨーロッパ

- ・平和の恩恵
- ・キリスト教と中世の旅・・・贖罪としての旅
- ・トラベル・トラブル・トラバーク（ツアー、トリップ、ジャーニー）
- ・ホテル・ホスピタル・ホスピタリティ

第3節 旅の文化・・・日本

- ・旅する民族・・・お伊勢参り
- ・すでに11, 12世紀には伊勢参りに40万人が参拝
- ・「漂泊と、定住と」鶴見和子
- ・長旅の社会システム・・・伊勢講・御師・割賦（パスポート）・聖と俗

第4節 旅と芸術・・・芭蕉（俳諧師）の旅

- ・人生は旅そのもの
- ・5回以上の長旅の人生
- ・芸術を支えた地域風土と芸術・・・「山河に芸術ありて」草柳大蔵
- ・「旅に病んで、夢は枯野をかけめぐる」

第5節 トーマス・クックとパック旅行の誕生

- ・グランドツアー・・・教養としての旅行（フランス・イタリアへの旅）
- ・産業革命と情報と、物見遊山
- ・トーマス・クックのパリ万博ツアー企画
- ・大衆化現象と、サービスイノベーションの創造（チェックとカード）

第6節 現代人にとってリゾートとは・・・湯布院の挑戦

- ・地震と自衛隊基地のまちの物語
- ・溝口薫平・中谷健太郎・志手康三というイノベーター
- ・農協に借金をして、バーデン・ヴァイラーへ
- ・静寂と自然という至福のプレゼント

第7節 哲学する旅人

- ・先人をたどる旅（西行をたどった芭蕉）
- ・振り返れば未来（木村尚三郎）
- ・他所を見、他人を見、自分自身を見
- ・「旅は賢い人をさらに賢くし、愚かな者をさらに愚かにする」三木清